

[特集] 大型施設の連携利用

みなさまご承知の通り、「特定先端大型研究施設の共用の促進に関する法律」に基づき、SPring-8/SACLA、特定中性子線施設 J-PARC、特定高速電子計算機施設「京」では、それぞれの施設を利用する連携利用を行う課題募集を行っております。

2016年9月2日、東京秋葉原に於いて、(公財)高輝度光科学研究センター (JASRI)、(一財)総合科学研究機構 (CROSS)、(一財)高度情報科学技術研究機構 (RIST) 主催による、第3回大型実験施設とスーパーコンピュータとの連携利用シンポジウムが開催されました。2016年は、最先端電池材料をテーマとした、ハイレベルの連携利用研究事例や、今後の連携利用を見据えた実験側、計算側への研究内容紹介などが行われました。

今号では、必ずしも大型施設ではない事例を含め、以下のように、量子ビームの連携利用、計算機科学との連携などに関し、研究報告を2件、研究会報告を1件特集いたしましたので、是非ご一読ください。

それぞれの施設の特徴を生かすことで、どのような研究が可能になるのか、今後の連携研究が進むことを期待いたします。

【最近の研究から / FROM LATEST RESEARCH】

● 「量子ビームと計算機シミュレーションの連携活用による先進タイヤの開発」

住友ゴム工業株式会社 研究開発本部 岸本 浩通

URL : <https://user.spring8.or.jp/sp8info/?p=34163>

● 「放射光・中性子・ミュオンで見た配列アルカリ金属ナノクラスターの磁気秩序」

大阪大学大学院 理学研究科 中野 岳仁

URL : <https://user.spring8.or.jp/sp8info/?p=34139>

【研究会等報告 / WORKSHOP AND COMMITTEE REPORT】

● 「第3回大型実験施設とスーパーコンピュータとの連携利用シンポジウム -最先端電池材料- 報告」

(公財) 高輝度光科学研究センター 利用研究促進部門 尾原 幸治、宇留賀 朋哉

URL : <https://user.spring8.or.jp/sp8info/?p=34168>